



Management

新体制

インテックは、2022年6月17日開催の定時株主総会後の取締役会において、次のとおり新体制を決定しました。

取締役



代表取締役社長
北岡 隆之

取締役 副社長執行役員	品質革新本部担当	新海 章
取締役 副社長執行役員	金融ビジネス事業本部、東地域統括本部担当	平井 克八
取締役 専務執行役員	北陸産業事業本部、行政システム事業本部担当	牧野 賢藏
取締役 専務執行役員	管理本部、内部統制(リスク・コンプライアンス、情報セキュリティ)担当 管理本部長	岸 善之
取締役 専務執行役員	バンキングビジネス事業本部担当	中森 行雄
取締役(非常勤)	TIS株式会社 代表取締役 副社長執行役員	安達 雅彦
取締役(非常勤)	TIS株式会社 代表取締役 副社長執行役員	柳井 城作

監査役

監査役	我妻 巧
監査役	上田 伸一
監査役(非常勤)	浅野 哲也

執行役員

専務執行役員	テクノロジー&マーケティング本部、ビジネスイノベーション事業部担当 ビジネスイノベーション事業部長	今里 直人
専務執行役員	企画本部、グループ会社管理担当 企画本部長	眞門 聡明
専務執行役員	流通サービス事業本部、ネットワーク&アウトソーシング事業本部、中部西日本産業事業本部担当、ネットワーク&アウトソーシング事業本部長	疋田 秀三
常務執行役員	人事本部担当 人事本部長	宮下 毅
常務執行役員	行政システム事業本部長	谷口 庄一郎
常務執行役員	社会基盤事業本部担当	加藤 三郎
常務執行役員	テクノロジー&マーケティング本部長	黛 文彦
常務執行役員	産業事業本部担当 産業事業本部長	泉 肇一

常務執行役員	情報流通基盤サービス事業本部担当 情報流通基盤サービス事業本部長	飯沼 正満
常務執行役員	管理本部副本部長、総務部長	五十嵐 陽
執行役員	社会基盤事業本部長	山口 浩明
執行役員	バンキングビジネス事業本部長	武藤 敦也
執行役員	金融ビジネス事業本部長	藤山 等史
執行役員	産業事業本部副本部長	林 鋭範
執行役員	中部西日本産業事業本部長	竹村 明弘
執行役員	流通サービス事業本部長	堀内 健司
執行役員	北陸産業事業本部長	山本 克也
執行役員	バンキングビジネス事業本部副本部長	桑野 修一
執行役員	品質革新本部長	鈴木 智秀

Management

2022年3月期決算 営業利益及び経常利益がいずれも過去最高 お客さまの付加価値向上につながる新規事業を創出

インテックは、2022年5月11日に2022年3月期の決算発表を行いました。

売上高は1,065億円(前期比3.3%減)、営業利益は105億円(同21.5%増)、経常利益は115億円(同20.1%増)、当期純利益は80億円(同19.0%増)と減収増益となりました。売上高は、主力の金融機関向けソフトウェア事業、医療・ヘルスケア事業向けソリューション、ネットワーク及びアウトソーシング関連のサービス型ビジネスが好調に推移しました。営業利益は、従来の業務分野だけでなく、2025年の崖問題に対応するための基幹系再構築やオープン系システムへの移行、クラウドリフトなどの新領域の案件増加が収益に寄与しています。

新規事業面では、ネットワークの技術・

ノウハウ・インフラをさらに進化させ、「ローカル5G」に代表されるマルチワイヤレス技術を活用したDX事業を立ち上げました。2022年2月14日にローカル5Gの免許を取得し、富山県と神奈川県にマルチワイヤレス技術の実証環境を整備しました。

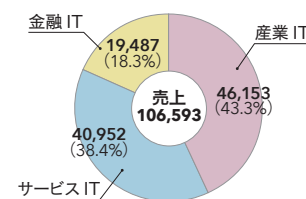
この超高速・大容量の通信基盤をベースに、オフィス環境、働き方改革、運用保守などの3つの業務分野と行政・医療、製造、物流、建設・不動産などの5つの産業分野をターゲットにサービス展開していきます。

今後も、システムインテグレーション(SI)とネットワークインテグレーション(NI)を組み合わせ、お客さまの課題を包括的に解決し、全国で独自のソリューションを展開していきます。

	2021年3月期実績	2022年3月期実績
売上高	110,205 (△5.3%)	106,593 (△3.3%)
営業利益	8,708 (△13.4%)	10,579 (21.5%)
経常利益	9,650 (△8.6%)	11,594 (20.1%)
当期純利益	6,749 (△16.9%)	8,029 (19.0%)

(単位: 百万円、括弧内は対前期比増減率)

●セグメント別売上高(2022年3月期)(単位: 百万円)

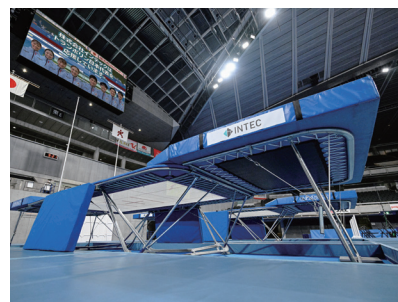


世界選手権に出場するトランポリン日本代表にインテック賞を贈呈

男女トランポリン日本代表のオフィシャルトップスポンサーであるインテックは、「第36回世界トランポリン競技(2022年6月開催)」において、11月に行われる世界選手権(開催地:ブルガリア・ソフィア)の日本代表に内定した男女10名の選手(男子:西岡隆成選手、井関駿太選手、石川和

選手、永田信弥選手、宮野隼人選手、女子:宇山芽紅選手、桐生莉沙選手、森ひかる選手、太村成見選手、佐竹玲奈選手)にインテック賞を贈呈しました。

インテックは、今後もトランポリン競技の普及に貢献するとともに、選手の皆さまを応援していきます。



第36回世界トランポリン競技会場



日本代表セレモニーの様子

手軽なアプリで健康経営を推進

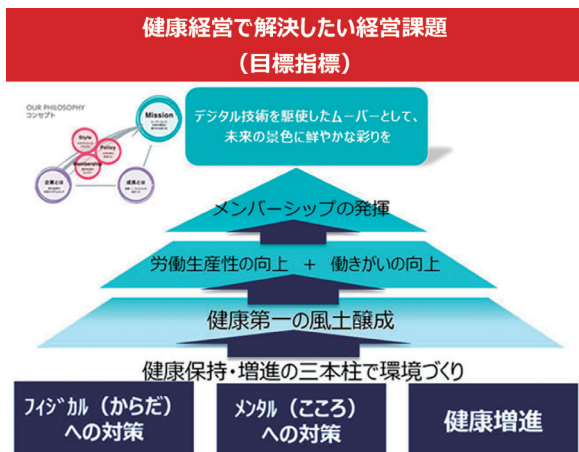
インテックは、社員が健康でイキイキと働き続けられる会社を目指し、「からだ」への対策、「こころ」への対策、健康増進の3つの柱で健康を保持増進させる環境づくりを行っています。この取り組みが評価され、経済産業省と日本健康会議が選定する「健

康経営優良法人(大規模法人部門)」に2018年から4年連続で認定されました。

今年度は「からだ」への対策強化を目的として、社員が毎日の食事や運動、睡眠などのライフログを管理できる「AI健康アプリ」を導入しました。食事は写真を撮るだけで

食べたもの、カロリー、栄養を分析することができます。また、アルゴリズム・AIによるアドバイスがリアルタイムに提供されることで、社員が生活習慣を振り返る機会を増やし、健康増進のための意識改革、行動変容につなげることを期待しています。8月には各拠点の産業保健担当者の協力を得て、ライフログの入力や食事のバランス、歩数などの健康行動を数値化した健康スコアを部所対抗で競い合うイベントを開催し、楽しく健康増進に取り組むことができました。上位チームは表彰を行い、健康増進に活用できる健康保険組合のポイントを贈呈しました。

インテックは、今後も社員一人ひとりが心身ともに健康で充実した社会生活を営むための環境を整備し、「労働生産性」や「働きがい」の向上に取り組むことで、自発的な文化と多様な個性が相互作用する生命力のある組織を作ってまいります。



導入したAI健康アプリ

高岡市にローカル5Gなどのマルチワイヤレス技術実証環境を開設

インテックは2022年6月、ローカル5Gなどのマルチワイヤレス技術を活用できる実証環境を、富山県高岡市「インテック万葉スクエア」に開設しました。

インテックは2月に総務省北陸総合通信局からローカル5Gの免許を取得し、万葉スクエア施設内に基地局（アンテナ）を設置しています。実証環境ではローカル5G、プライベートLTE（sXGP）、Wi-Fi6の通信環境を整備しており、それぞれの通信方式の違いを検証できるほか、神奈川県横浜市内の事業所と接続し、遠隔操作の検証をすることも可能です。

施設内には遠隔地で撮影された高精細映像を通信方式別に配信して画質を比較できるモニターや、マスク下の表情を予測する画像補正システム「マスクイレーサー」の展示コーナーを常設。カメラで捉えたマスク着用者の表情をAIが分析し、リアルタイムに画面に映し出す仕組みにはローカル5Gを使用しており、実際に体験することが可能です。

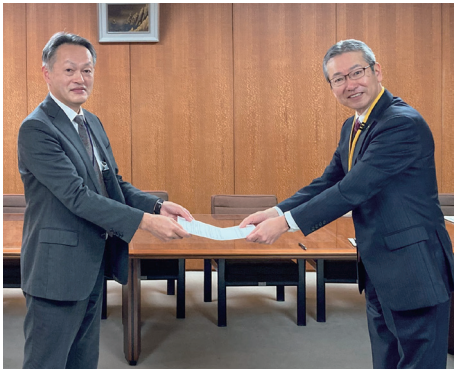
今後は2021年10月にサービスを開始した「ワイヤレスDX」ソリューションの技術検証や、地域や企業との共創プロジェクト推進の拠点として実証環境を活用していきます。



マルチワイヤレス技術実証環境イメージ

お問い合わせ先

株式会社インテック
テクノロジー&マーケティング本部 新事業開発部 E-mail: wdx_info@intec.co.jp



総務省北陸総合通信局・蒲生孝局長(当時)からローカル5Gの免許状を取得する弊社社長・北岡



通信方式別に高精細映像の画質を比較できるモニター



展示コーナーでの「マスクイレーサー」体験の様子

Survey

お客さまとインテックをつなぐ広報誌「INTEC TODAY」アンケート回答のお願い

インテックは、広報誌「INTEC TODAY」を年2回発行しています。皆さまのご意見、ご感想を誌面づくりの参考にさせていただきますので、右記のアンケートフォームにアクセスの上、ご回答をお願いいたします。

お問い合わせ先

株式会社インテック
テクノロジー&マーケティング本部 広報室
E-mail: intec_pr@intec.co.jp

▶アンケートに答える



<https://www.intec.co.jp/company/intectoday/>